

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="632 703 1163 1072"><tr><td data-bbox="632 703 895 887">1</td><td data-bbox="895 703 1163 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="632 887 895 1072">3</td><td data-bbox="895 887 1163 1072">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0022
0023
0024
0025
0026

所 屬
第三方面軍直轄
一三六師團
部隊名 歩兵第三七二聯隊(四)
通稱 不抜三七二二二
郵便所名

全般概要					轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員人制編
隊中 信通	隊中 砲隊 聯	李行隊大三第	隊小 砲兵 歩	隊中 銃關機三第	別 隊	隊長名 ()内は先代を示す	開入 人員 駐屯地
	中尉 松下 正則						戰鬥間の状況及損耗
右同	右同	右同	右同	陽 遼			終戦後の人員變動
	中隊の改編及新編成なし 日ソ開戦により部隊長の命にて遼陽北方四 村余の高地に防禦陣地構築戦なし 隊、逃亡其の他なし						作業大隊より 入ソ迄の變動
	ソ軍連隊部隊の命により部隊と共に遼陽砲 四門連隊教育隊に接続す						入ソ人員
	中隊下士官長作業大隊中 隊に編入せらる						隊別 計
							滿洲 殘留

部隊名 歩兵第三七二聯隊(四)

通稱號 不拔三七二二二

郵便所名

人員別		別		隊	
別	隊	長	名	時	關
員	長	名		員	人
計	計	計	計	計	計
隊中通信	隊中砲隊聯	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃關機三第	別
	中尉 松下 正則				()内は先代を示す
					駐屯地
司	右同	右同	右同	右同	陽 遼
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より入ソ連の變動
					入ソ連人員
					除別計
					滿洲殘留
					收容所名
					收容所
					歸還人員
					狀況不明者數

中隊の改編及新編成なし
日ソ開戦により部隊長の命にて遼陽北方四
村の高地に防禦陣地構築戦死なし
離隊、逃亡その他なし

ソ連連隊部隊の命により部隊と共に遼陽南
四門運動場教育隊に集結す

中隊下士官兵作業大隊未中
隊に編入せらる

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲隊聯	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃砲後三第
			中尉 松下 正則			
右同	右同	右同	右同	右同	右同	同送
			中隊の改編及新編成なし 日ノ陣戦ハヨリ部隊長の命ニテ遊場北方 新卒の高地ニ防禦陣地構築戦ナシ 遊隊、逃亡其の他なし			

ン軍遊駐部隊の命により部隊と共に遊射場
四門遊隊攻撃隊に参戦す

中隊下士官兵作業大隊某中
隊に編入せらる

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲隊聯	李行隊大三第	隊小砲兵步	隊中銃砲機三第
			中尉 松下 正則			
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
			中隊の改編及新編成なし 日ソ開戦により部隊長の命にて連隊北方 系余の高地に防禦陣地構築終平なし 離隊、逃亡等の他なし			

ソ軍連隊部隊の命により部隊と共に連隊砲
四門連隊教育隊に帰属す

中隊下士官兵作業大隊系中
隊に編入せらる

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 698 1161 1070"><tr><td data-bbox="630 698 890 884">1</td><td data-bbox="890 698 1161 884">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 884 890 1070">3</td><td data-bbox="890 884 1161 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0046
0047
0048
0049

所屬 第三方面軍直轄
一三六師團

部隊名 歩兵第三七三聯隊(一)

通稱 不抜三七二三

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編	隊別	隊長名	關人	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ返の變動	隊別計	滿洲殘留
二〇、八、一〇、本溪湖に於て編成大部分は在滿召集者なり 二〇、八、九、本溪湖出發同日奉天着 東段に於て陣地構築に従事す 二〇、八、一五迄奉天防禦の任に當る 現河盛にて終戦を知り兵の大部分は召集解除す 三〇、八、二二、奉天古戦跡に於て武装解除 爾后召集者は全部解散し同日現役兵のみ聯隊長の指揮の下にソノ命令により成石寺に集結す 戦死約二五〇名と交戦戦死約五〇名 奉天混成三二大隊に編入 二〇、九、一〇、奉天發着 二〇、一〇、三、黒河經由 二〇、一、二、イルクツク地区一八分所に收容		十九年以降	十九年以降	員人編	第一聯隊本部	少佐 河野佳次郎	關人						
第一	第一聯隊本部	大尉 國勝											
第二	第二聯隊中隊												
第三	第三聯隊中隊												
第四	第四聯隊中隊												
第五	第五聯隊中隊												
第六	第六聯隊中隊												
第七	第七聯隊中隊												
第八	第八聯隊中隊												
第九	第九聯隊中隊												
第十	第十聯隊中隊												

				人員編制	
第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊
			大尉 國協	少佐 河野佳次郎	隊長名 (内は先代を不示)
					開入 戦時 人員
					駐屯地 平時 戦時
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソ返の變動
					入ソ人員 除別計
					滿洲殘留
					收容所 收容所名
					所入 死亡
					歸還人員 滿洲より ソ領より 計
					状況不明 者数

部隊名 歩兵第三七三聯隊(一)

通稱號 不拔三七二三三

郵便所名

二〇、八、一〇、本隊に於て編成大部分は本隊を率えり

二〇、八、九、本隊編成を同日奉天府

二〇、八、一五迄奉天防務の任に當り

二〇、八、二二、奉天古城に於て武器解凍

奉天編成三大隊に編入
二〇、九、一〇、奉天發
二〇、一〇、三、墨河編成
二〇、一、二、イルク
ワタ地陸一八分所に收容

少佐 河野佳次郎

大尉 國勝

隊 本 隊 聯	部 本 隊 大 一 第	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第	隊 中 銃 開 機 一 第

隊中銃關機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊六一第	部本隊務
				大尉 國盛	少佐 河野佳太郎

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1"><tr><td data-bbox="730 723 810 880">1</td><td data-bbox="994 723 1074 880">2</td></tr><tr><td data-bbox="730 902 810 1059">3</td><td data-bbox="978 902 1058 1059">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0050
0051
0052
0053

第三方面軍直轄
一三六師團

部隊名 歩兵第三七三聯隊(二)

通稱號 不拔三七三三三

郵便所名

全般概要					轉入	轉出	員人割編	別隊	隊長名	戰時人員	平時人員	戰時人員	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留	收	
十九年以降					十九年以降			隊長名 (内は先代を示す)											
隊中四第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩				中尉 吉野											
中尉 橋本																			

部隊名 歩兵第三七三聯隊 (二)

通稱號 不拔三七三三三

郵便所名

第	隊 中 四 第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵步	別 隊	出 降
中尉 橋本			中尉 吉野			隊長名 ()内は先代を示す	開人
						駐 屯 地	戦 間 の 状 況 及 損 耗
							終戦後の人員變動
							作業大隊より 入「ソ」迄の變動
							入「ソ」人員 隊別計
							滿洲殘留
							收容所名
							收容所
							死亡
							滿洲より 領 計
							歸還人員
							者 数
							狀況不明

隊中六第	隊中五第	隊中四第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩
少尉 小野田	中尉 橋本			中尉 吉野		
	180					

隊中六第	隊中五第	隊中四第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩
少尉 小野田	中尉 橋本			中尉 吉野		
	180					

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="638 705 1165 1075"><tr><td data-bbox="638 705 901 884">1</td><td data-bbox="901 705 1165 884">2</td></tr><tr><td data-bbox="638 884 901 1075">3</td><td data-bbox="901 884 1165 1075">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0000
0000
0000
0000

第三方面軍直轄
一三六師團

部隊名
歩兵第三七三聯隊(三)

通稱
本抜三七二二三三

郵便所名

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

編制人員

隊長名
(内は先代を示す)

開入
駐屯地
平時
戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソ返の變動

入ソ人員
隊別計

満洲残留

中八第	隊中七第	部本隊大三第	隊中砲兵歩	隊中銃關機二第	別隊	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ返の變動	入ソ人員 隊別計	満洲残留
	少尉 高橋	中尉 松本		少尉 相田 嘉一			二〇、九、一六、奉天發 左隊召還等ハ現地召還 奉天渡成にて二大隊 一五〇〇名 長河野少佐 106D 各部隊 及 DT 一〇〇	三〇、九、一六、奉天發 一〇、三二、黒河發入ソ 一、二、イルクツク池 區一八分所(タイガ) 五〇〇名のみ入所(長河野 少佐) 輸送間送亡三名、死亡一名		

出
降

編制人員

部隊名
歩兵第三七三聯隊(三)

通稱
不抜三七三

郵便所名

第八	第七中隊	第三大隊本部	步兵砲中隊	第二機關銃中隊	隊別	隊長名 (内は先代を示す)	開人 職員	駐屯地 平時 戦時	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソの變動	入ソ人員 隊別計	満洲残留	收容所名	收容所 人数	死亡	満洲より 歸還人員計	状況不明者数
	少尉 高橋	中尉 松本		少尉 相田 嘉一						二〇、八、一四迄入ソして一五四名を解 送満洲に現地を解 奉天退散して二大隊 一五〇〇名 長河野少佐 108D 各部隊 及DT 一〇〇	二〇、九、一六、奉天發 一〇、三二、長河野由入ソ 一、二、イルクーツク地 區(八分所)(タイガ) 五〇〇名のみ入所(長河野 少佐) 線送開送二名、死亡一名			イルクーツク地區 (タイガ)	500		500	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1"><tr><td data-bbox="715 721 778 878">1</td><td data-bbox="976 721 1056 878">2</td></tr><tr><td data-bbox="715 900 794 1057">3</td><td data-bbox="960 900 1040 1057">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0000
0000
0000
0000
0001

番 所

第三方面軍直轄
一三六師團

部隊名

歩兵第三七三聯隊(四)

通 信 號

不抜三七二二三

郵便所名

全般概要

轉入
轉出
十九年以降
十九年以降

員人制編

別 隊

隊長名
(内は先代を不示)

開人
戦時
平時

駐屯地
戦時
平時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員

滿洲残留

收

隊 長	隊 員	隊 員	隊 員	隊 員	隊 員	隊 員
少尉 竹中	少尉 安藤	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃擧機三第	隊中通信	隊中砲隊職

部隊名

歩兵第三七三聯隊(四)

通稱號

不拔三七三三三

郵便所名

隊中通信	隊中砲隊職	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃擧機三第	別隊	員人副編
少尉 竹中	少尉 安藤					隊長名 (内は先代を示す)
						關人 戰時 駐屯地
						戰鬥間の狀況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より 入ソ連の變動
						入ソ連人員 隊別計
						滿洲殘留
						收容所名
						所人
						死亡
						滿洲ソ領 より
						歸還人員 計
						狀況不明 者数

李行隊職	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲隊職	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃隊三第
		少尉 竹中	少尉 安藤			

李行隊職	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲隊職	李行隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃隊義三第
		少尉 竹中	少尉 安藤			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 703 1166 1070"><tr><td data-bbox="635 703 895 887">1</td><td data-bbox="895 703 1166 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 887 895 1070">3</td><td data-bbox="895 887 1166 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

000000
000000
000000
000000

	全 般 概 要	所 属	
	轉 入 十 九 年 以 降	第 二 軍 方 面 直 轄	
	轉 出 十 九 年 以 降	部 隊 名	
	員 人 制 編	第 二 三 六 師 團 制 毒 隊	
	別 隊	通 稱 號	
	隊 長 名 (内 は 先 代 を 示 す	駐 屯 地	
	戰 闘 人 員	戰 闘 時	
	平 時	戰 時	
	戰 闘 間 の 狀 況 及 損 耗	郵 便 所 名	
	終 戦 後 の 人 員 變 動	入 入 入	
	作 業 大 隊 よ り 入 返 の 變 動	入 入 入	
	隊 別	入 入 入	
	計	入 入 入	
		滿 洲 殘 留	

部隊名 第二三六師團制毒隊 通稱號

郵便所名

出 降 以 年 九		
編 制 人 員		
隊 別		
隊 長 名 (内は先代を示す)		
關 人 戰 時 員	駐 屯 地	
平 時	戰 時	
		戰 斗 間 の 狀 況 及 損 耗
		終 戰 後 の 人 員 變 動
		作 業 大 隊 よ り 入 ソ の 變 動
隊 別	入 ソ 人 員	
計		
		滿 洲 殘 留
收 容 所 名	收 容 所	
所 入		
死 亡		
滿 洲 よ り	歸 還 人 員	
ソ 領 よ り		
計		
者 數	狀 況 不 明	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="632 707 1163 1077"><tr><td data-bbox="632 707 892 891">1</td><td data-bbox="892 707 1163 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="632 891 892 1077">3</td><td data-bbox="892 891 1163 1077">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0000
0008
0009
0009

第三方面軍直轄 部隊名 第二三六師團挺進大隊

通稱 不抜三七二一八

郵便所名

全般概要		轉入 轉出		員人編		別隊		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ連の變動		隊別計		滿洲殘留		収容所			
二〇、七、一〇、本溪湖に於て在籍する者を主力として新編 人員約六〇〇名 二〇、七、中旬 遼陽出發後(兵の三割は北支より轉入するもの) 終戦時は極古兵器廠の整備に當つて居た 終戦後八、中旬 第一回召喚、人員不明 在籍召喚者として鐵道關係が主 並に在籍者其他、逃亡、離散し 二〇、九、一五、烟台にて八路軍により武解を受けた時は人員約六〇名にして北支、内地召喚者のみなり 六〇名の行動 八路軍により烟台放抗にて労働約二ヶ月 二二、一、中旬、解放 岩盤にて其儘作業に従事 二〇、一、兵十二名八路軍教官要員として拉致、其後復歸せるもの五、六名 二一、六、中旬、烟台發、二日後、大連經由復員済		十九年以降 十九年以降				隊長名 ()内は先代を示す 大尉 井出 吉壽 副 少尉 掛井 稔		開入 戰時 平時		駐屯地 遼陽北八軒煙台 同											
第三中隊	第二中隊	第一中隊	部	本	別	隊	戰鬥	駐屯	戰鬥	終戦後	作業大隊	隊別	滿洲	収容							
中尉 有川																					
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同												
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同												

部隊名 第二三六師團挺進大隊

通稱 不拔三七二二八

郵便所名

家 中 三 第				隊 中 二 第		隊 中 一 第		部		本		出 以降
中尉 有川										副 大尉 井出 吉壽 少尉 榊井 稔		員人制編
												開人
右 同				右 同		右 同		右 同		遼陽北八軒煙台		駐屯地
右 同				右 同		右 同		右 同		土 同		戦時
												戦闘中の状況及損耗
												終戦後の人員變動
												作業大隊より入ソ連の變動
												入ソ連人員
												隊別計
												滿洲残留
												收容所名
												收容所
												死亡
												滿洲より
												領部
												者
												状況不明
												数

	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部	本
	中尉 有川				少尉 岩井 稔
	右 同	右 同	右 同		台煙新八方北陽
	右 同	右 同	右 同		上

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 707 1169 1077"><tr><td data-bbox="635 707 895 891">1</td><td data-bbox="895 707 1169 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 891 895 1077">3</td><td data-bbox="895 891 1169 1077">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0070
0071
0072
0073

属所

第三方面軍直轄

部隊名 野砲兵第一三六聯隊

通稱 不抜三七二一九

郵便所名

全般概要

轉入 轉出
十九年以降 十九年以降

員人編

別隊

隊長名

戰開人
時員

駐屯地
平時 戰時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員
隊別計

滿洲殘留

收容

二〇、七、一〇、海軍に
移

二〇、八、九、日ソ開戦に
當り奉天に移動

主力は奉天にて武解

二〇、九、六、北陵に收容
作業大隊編成

二〇、九、中旬、ヘルシン
キヨに入ッテ

中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊
				少佐 正木 義助 觀測係 將校 少尉 守重 哲信	()内は先代を示す
右同	右同	右同	右同	海城	駐屯地
右同	右同	右同	右同	奉天	戰時

轉出
十九年以降
編制人員
隊別
隊長名
開入
駐屯地
戰鬥間の状況及損耗
終戦後の人員變動
作業大隊より
入ソノ人員
滿洲殘留
收容所
歸還人員
狀況不明者數

部隊名 野砲兵第一三六聯隊
通稱號 不拔三七二二九

郵便所名

三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊	隊長名 (内は先代を示す) 少佐 正木 義助 觀測係 將校 少尉 守重 哲信	開入 人員 時	駐屯地 平時 戰時	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ變動	入ソノ人員 隊別 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	歸還人員 滿洲より ソノ領 計	狀況不明者數
								海 坂 奉 天								
右同	右同	右同	右同	右同												
右同	右同	右同	右同	右同												

二〇、九、六、北隊の收容

二〇、八、九、日ノ部隊に
當リ奉天に移動

主力は奉天にて武解

二〇、九、六、北隊の收容
作業大隊編成

二〇、九、中旬、ハルビン
經由、入ソテ

列段隊大一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊
					少尉 守重 香信
右同	右同	右同	右同	右同	少尉
右同	右同	右同	右同	右同	天奉

第一大隊段列	第三中隊	第二中隊	第一中隊	第一大隊本部	聯隊本部
					親衛隊 少尉 守衛 通信 少尉 守衛 通信
右同	右同	右同	右同	右同	隊
右同	右同	右同	右同	右同	奉天

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="638 694 1173 1064"><tr><td data-bbox="638 694 901 884">1</td><td data-bbox="901 694 1173 884">2</td></tr><tr><td data-bbox="638 884 901 1064">3</td><td data-bbox="901 884 1173 1064">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0074
0075
0076
0077

題 所

第三方面軍直轄 部隊名 野砲兵第一三六聯隊

通稱 號 不拔 三七二一九

郵便所名

全般概要					編制人員
轉入					轉出
十九年以降					十九年以降
第 二	第 六 中 隊	第 五 中 隊	第 四 中 隊	第 二 大 隊 本 部	隊 別
			中尉 芥田 實		隊長名 (内は先代を示す)
			120		開入 戦時 人員
			遼 陽		駐屯地
			獨立中隊として重松部隊の指揮下に入る。 (陸海大隊附)命令にて遼陽に入る。		戰鬥間の状況及損耗
			空襲にて被害 本隊砲工兵隊員七名全滅す		終戦後の人員變動
			海城第七大隊 (陸大隊砲海文四連) 二〇、八、二〇海城より遼 陽へ 二〇、九、二一遼陽より海 城へ此間難隊三〇名		作業大隊より 入ソ迄の變動
					入ソ人員 除別計
					滿洲殘留
					收

部隊名 野砲兵第一三六聯隊

通稱 號不抜 三七二一九

郵便所名

				出降	人員制編
二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	別隊
			中尉 芥田 實		隊長名 (内は先代を不示)
			120		開人 戦時 戦時
			陽 透		駐屯地
			獨立中隊として重砲部隊の指揮下に入る。 (陽透大隊附) 命令にて逐隊に入る。		戦闘間の状況及損耗
			逐隊にて武解 本隊湖工兵隊連隊者七名合流す		終戦後の人員變動
			海軍第七大隊 (陸大尉陽透文四郎) 二〇、八、二〇海城より旅 頭、 二〇、九、二一龍岡より海 城、此間離三〇名		作業大隊より 入ソ迄の變動
					入ソ人員 隊別計
					滿洲殘留
					收容所名
					所入
					死亡
					滿洲より 歸還人員 計
					者数 状況不明

部本隊大三第	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二
					子 茶 亭
				120	
					湯、
					昭和十年六月二十七日 （昭和十年六月二十七日） 昭和十年六月二十七日 昭和十年六月二十七日 昭和十年六月二十七日

昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日

昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日
昭和十年六月二十七日

部本隊大三第	列段隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二
					中 野 茶 田 一 等
				120	
					隊 長
					副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中） 副立江中隊（中）
					第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部 第〇軍師團長入部

分割撮影ターゲット

分割した
部分の
撮影順序

1	2
3	4

分割撮影
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

0078
0079
0080
0081

所 属
第三方面軍直轄 部隊名 野砲兵第一三六聯隊
通稱 不抜三七二二九
郵便所名

全般概要					二〇、八、初、第三大隊は 聯隊本部、五中、六中、と 共に奉天に移動
轉入					十九年以降
轉出					十九年以降
員人編制					
第三大隊	第九中隊	第八中隊	第七中隊	隊別	
隊長名					()内は先代を示す
戦時人員					開人
平時人員					駐屯地
戦時人員					戦時人員
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より					入「ソ」人員
入「ソ」迄の變動					除別計
滿洲残留					
收					

部隊名 野砲兵第一三六聯隊

通稱號 不拔三七二一九

郵便所名

出 年以降				編 入人員	
第三大隊段列	第九中隊	第八中隊	第七中隊	隊別	
				隊長名 (内は先代を不す)	
				開人 戦時	駐屯地
				戦時	戦時
				戦間期の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
				入「ソ」人員	隊別
				計	
				満洲残留	
				收容所名	收容所
				入所人員	死亡
				満洲より領	歸還人員
				計	
				者	状況不明
				数	

聯隊段列	第三大段隊列	第九中隊	第八中隊	第七中隊

列段隊聯	列段隊大三第	隊中九第	隊中八第	隊中七第
